



平成29年6月28日

6月号

杉並区立東原中学校

## “大きな感動と確かな成長”

校長 渡辺 宏

6月3日（土）の当日まで、実行委員会を中心に、平成29年度バージョンの“運動会”の成功を目指し、学校全体が一丸となって、大きな河の流れのように動いておりました。

今年度がスタートしてまもない4月14日（金）に先生方の組織より運動会実施案が提出され、“運動会”に向けた準備をスタートさせておりました。体育科の担当者は春休みから準備を進めていたわけです。

第1回実行委員会を4月18日（木）に行い、組織作り、実施要項・選手決めの説明、全体・学年スローガン等について話し合いを行いました。

今年度は5月早々から真夏日のような日が続く、運動会の練習が始まる準備段階として、保健通信5月号では“熱中症に注意”とお知らせしました。練習は5月20日（月）より、7時40分～8時10分までの朝練習、学年練習、全校練習、予行練習、色別練習等、ほとんど毎日のように行われました。限られた時間設定の中でしたが、新学期がスタートして1カ月を過ぎた程度であり、新しいクラスメートとの関係が十分成り立っていないような状況で、精神的・体力的に限界を求め、疲労などを背負いながらも頑張っている姿を今年も目にする事ができました。

運動会実行委員会が掲げた今年の全体スローガンは“精神一到”。各団のスローガンは、赤団が“赤華皆咲”と白団は“勇往邁進”。このスローガンの達成も、毎年本校の生徒が一体となり、辛い時や苦しい時の心の貴重な土台となって成長に繋がる、本校ならではの培われた教育と言えるでしょう。

3年生は、「中学校生活最後の“運動会”を創り上げる」「記憶に残る大むかでに挑戦」を柱に、最上級生の責任の重さや最後の運動会は勝ち負けだけでなく、後輩たちを魅了しなければならない。最後まで追い求める姿、“背中で魅せる運動会”の追求に精一杯ベストを尽くして練習に集中してくれました。

さらに、運動部は最後の公式戦である夏季大会に向け全力を投じている時期なので、練習にも最善を尽くしているところ。また、生徒によっては運動会応援団員として“原中ソーラン節”の練習等。“原中ソーラン節”には、全校生徒184名中96名が（なんと52%）参加し、隊列のポジションを決めるのにセレクションも行われました。

“心身ともに限界に挑戦”、そのような状況において何よりも心の支えになったが、生徒会役員や実行委員会、そして3年生を中心にリーダーシップを発揮している生徒たちの純粋な心が動かす誠実な姿でした。

“運動会”では、出場したどの種目や競技においても全校生徒が精一杯の力を発揮し、爽やかな中に、“大きな感動と確かな成長”をご来場いただいた保護者・地域の皆様に披露してくれました。私は、本校の“運動会”は5回目を迎えました。年を重ねるごとに地域・保護者の皆さまの来校される人数が多くなっており、今年度着任した川口副校長も、「開会式及び閉会式にこれほど多くの方々に来校される学校は初めて経験しました」と感想を述べておりました。今年も大きな行事を終え、“東原スピリット”を満喫することができましたことに感謝いたします。

この素晴らしい成果の陰には、ご家庭や地域の皆さまの大きなご支援・ご声援がございました。改めて心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



## “学校支援本部定例会”より

東原中学校支援本部は、地域の志のある人たちが学校の教育活動などを支援するために設置さらえたボランティアによるネットワーク組織です。発足して8年目を迎え、今年も学校支援本部よりご支援をいただき、さまざまな活動が展開されております。

### ☆ “花咲け！フラワーボランティア”

“花咲け！フラワーボランティア”は、5月19日（金）、6月1日（木）の放課後に実施しました。この活動は環境美化として、生徒・保護者・教職員・学校支援本部のチームワークで成り立っています。当日は、参加した生徒たちは花壇の手入れに頑張ってくれました。今学期は、6月28日（水）、7月10日（月）の2回計画しております。梅雨の時期に入ったためスケジュールが予定通り実施できることに期待します。

学校支援本部の皆さまには、始業式や入学式、また卒業式に向けた花の手入れに支援をいただき、季節感一杯の中、学校行事を進めることができいております。また、ボランティアに参加する生徒たちを募集しております。

### ☆ “定期試験前の放課後自習学習教室”

“定期試験前の放課後自習学習教室”は定期考査前の4日間、卒業生や地域の方々の見守りのもと放課後に学習スペースが開かれました。この活動は、生徒の自習学習が基本ですが、生徒同士で教え合ったり、ボランティアの大学生に質問したりと、賑やかに楽しく勉強しております。大学生や学校支援本部のチームワークで成り立っています。なお、参加する生徒は安全管理上登録制となっておりますので、事前に必要事項を記入して提出するようにしてください。今回は、13名～17名が参加しました。

### “すぎなみ小・中学生未来サミット”について

日本全国でいじめが大きな社会の問題となり、ニュースでは残念ながら自らの命を絶つ中学生が報道されることが止みません。このような社会の状況を受けて、杉並区立中学校では生徒会を中心に生徒たちの手でいじめ追放運動として、平成25年8月4日（日）“杉並中学生生徒会サミット”を開催し、平成27年度まで3年間取り組みました。

昨年度より、“すぎなみ小・中学生未来サミット”と名称を変更し、内容も小・中一貫教育連携校とタイアップして、“明るい学校づくり”をテーマに取り組みが始まりました。東原中・杉九小では6月19日（月）朝登校する生徒に向けて、小・中学校の代表児童・生徒が挨拶運動を実施しました。

今後は、第二段として7月6日（木）に本校で開催されます“生徒会説明会”において、活動を実施する予定です。昨年度は、杉九小学校校歌や区歌を児童と杉九小出身の生徒が合唱をしました。

“すぎなみ小・中学生未来サミット”は、7月29日（土）午後1時～セッション杉並のホールと展示室を使用して開催されます。第1部各校の取り組み、第2部パネルディスカッションとなっております。保護者・地域の皆さま、児童・生徒たちが取り組みをご披露いたしますので、ご理解いただきご支援をお願い申し上げます。

### “安全・安心な社会について考える”

杉並区教育委員会では、災害時に役立つ知識と技能を身に付ける活動を通し、中学生の防災意識や地域貢献意識の向上を図ることを目的として平成17年度より“中学生レスキュー隊”を編成しました。平成28年度は23校476名の隊員が参加しております。

消防署員の方々のご指導のもと、AED操作、応急救護（三角巾）、規律訓練体験、ガス復旧操作、ロープ降下訓練、ロープ渡過訓練、消防服着装体験等、日ごろできない貴重な経験や体験を積むことができます。

発足式及び第一回合同訓練は、7月9日（日）9時～11時45分 阿佐ヶ谷中学校体育館・校庭を使用して行われます。隊員はいつでも名簿に名前を搭載できますので、意欲がある方はよろしく願いいたします。